

2020年11月実施
第14回
農業簿記検定[®]
2級 問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**2時間（120分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から26頁まで印刷**しています。
試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 以下の文章のうち、誤っている文章が一つある。その文章の選択肢を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 農企業の製品の原価は、自ら計算しなければ知ることができない。したがって、製品の原価を計算することは重要な課題となり、この計算手続きを原価計算という。
2. 原価計算の目的の一つは、製品をより安く効率的に製造するために必要な資料を提供する、原価管理目的である。
3. 農業簿記は、原価計算の手続きなしで記録に必要な資料を得ることはできない。また、原価計算は、農業簿記から基礎資料を受け取ることにより、その目的を達成することができる。
4. 種苗の購入のために借り入れた資金によって生じる支払利息は、農作物の生産のために発生する費用のため製造原価になる。
5. 製造原価、販売費および一般管理費以外の費用を非原価項目という。

問題 2

当社では、種苗費、農薬費についてともに材料勘定を用いて処理している。また、実際消費量を、種苗費は継続記録法、農薬費は棚卸計算法によって計算し、消費価格を種苗費は先入先出法、農薬費は総平均法によって計算している。次の取引の【仕訳】について、正しい組み合わせの選択肢の一つを選びなさい。

【仕訳】（単位：円）

7月1日 前月繰越 種苗 300 kg @150円 45,000円
農薬 200 kg @40円 8,000円

10日 種苗 128,000円（800 kg）を掛で購入した。

（材料） 128,000 （買掛金） 128,000

12日 種苗 550 kgを生産指示書No.1に出庫した。

（①） 85,000 （材料） 85,000

15日 農薬 13,500円（300 kg）を掛で購入した。

（材料） 13,500 （買掛金） 13,500

20日 種苗 300 kgを間接材料費として出庫した。

（②） 48,000 （材料） 48,000

31日 農薬の月末実地棚卸量は180 kgであり、間接材料費を計上した。

（製造間接費）（③） （材料）（③）

31日 種苗の月末実地棚卸高は220 kgであり、棚卸減耗費を計上した。なお、棚卸減耗は保管中に不可避免的に発生したものである。

（製造間接費）（④） （材料）（④）

【選択肢】

	①	②	③	④
1	仕掛品	仕掛品	7,740円	4,800円
2	仕掛品	製造間接費	13,760円	4,800円
3	仕掛品	製造間接費	13,400円	35,200円
4	製造間接費	仕掛品	13,400円	35,200円
5	製造間接費	製造間接費	13,760円	4,800円

問題 3 労務費に関する以下の文章のうち、誤っている文章が一つある。その文章の選択肢を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 中小企業退職共済金制度のように拠出後に追加的な負担が生じない外部拠出型の制度については、その掛金を「福利厚生費」に含めて処理する。
2. 給与計算期間と原価計算期間が異なる場合、未払賃金手当等を考慮して原価計算期間の要支給額を計算し、原価計算を行う。
3. 「作業委託費」や「ヘルパー利用料」は、労働にかかる費用であるため労務費に含まれる。
4. 手待ち時間とは、作業員の責任以外の原因によって作業が行なえなかった時間であり、間接労務費となる。
5. 実際消費賃率と予定消費賃率が異なる場合、原価差異が発生する。この差異を「賃率差異」といい、毎月末に賃率差異勘定に振替えられ、翌月へ繰り越される。

問題 4 以下の【仕訳】の資料から、空欄（①）～（④）に入る金額として正しいものの組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

【仕訳】（単位：円）

7/ 1 作業員の前月末未払額は 273,000 円であった。

（未払費用） 273,000 （賃金手当） 273,000

7/25 賃金手当の当月支給総額は、3,720,000 円であり、預り金 270,000 円を差し引いた金額を普通預金から支払った。

（賃金手当） 3,720,000 （預り金） 270,000
 （普通預金） 3,450,000

7/31 当月の作業員の実際作業時間の内訳は次のとおりであった。

直接作業時間 3,500 時間 間接作業時間 300 時間 手待時間 150 時間
 なお、消費賃率は予定消費賃率を採用し、1 時間当たり 950 円であった。

（仕掛品）（①） （賃金手当）（？）
 （製造間接費）（②）

7/31 賃金手当の当月末未払額は 261,000 円であった。また、賃金手当勘定における貸借差額を賃率差異勘定へ振り替えた。

（賃金手当） 261,000 （未払費用） 261,000
 （③）（④） （？）（④）

【選択肢】

	①	②	③	④
1	3,720,000	427,500	賃金手当	44,500
2	3,325,000	427,500	賃金手当	44,500
3	3,325,000	427,500	賃率差異	44,500
4	3,325,000	285,000	賃金手当	187,000
5	3,325,000	285,000	賃率差異	187,000

問題 5 以下の【資料】に基づき、実際部門費集計表の作成を行い、空欄（①）～（④）に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。

【資料】

1. 実際部門費集計表（単位：円）

	金額	水稻部門	麦部門	豆部門	野菜部門
部門個別費					
肥料費	118,000	48,800	24,500	23,200	21,500
農薬費	110,800	56,300	20,100	18,800	15,600
作業委託費	120,800	55,200	34,600	13,800	17,200
部門共通費					
減価償却費	280,000	()	()	(①)	()
共済掛金	110,000	()	(②)	()	()
動力光熱費	40,500	(③)	()	()	()
部門費合計	780,100	()	()	()	(④)

2. 部門共通費配賦基準に関する資料

	配賦基準	水稻部門	麦部門	豆部門	野菜部門
減価償却費	耕作面積	240a	200a	160a	100a
共済掛金	機械価額	2,100,000円	1,800,000円	900,000円	700,000円
動力光熱費	機械運転時間	3,300時間	2,800時間	1,100時間	900時間

【金額】

ア 143,300 イ 112,800 ウ 96,000 エ 64,000
 オ 36,000 カ 5,500 キ 16,500 ク 4,500

【選択肢】

	①	②	③	④
1	キ	オ	カ	エ
2	ウ	ク	オ	ア
3	エ	オ	カ	ア
4	ウ	エ	オ	イ
5	エ	オ	キ	イ

問題 6

当農園では、実際個別原価計算を行っている。以下の指示書別原価計算表と仕掛品勘定および製品勘定を作成し、空欄（①）～（⑤）に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

1. 各生産指示書に関するデータ

	直接材料費	直接労務費	製造間接費	直接作業時間	備考
青ネギ	668,000 円	? 円	? 円	120 時間	前期着手、当期収穫・引渡
カボチャ	412,000 円	? 円	? 円	110 時間	当期着手・収穫、当期末未引渡
ハウレンソウ	329,000 円	? 円	? 円	95 時間	当期着手、当期末未収穫

2. 直接労務費については予定賃率を用いており、予定賃率は 1,150 円/時間であった。

3. 製造間接費は、直接作業時間当たり 2,700 円で各指示書に予定配賦を行っている。

4. 期首仕掛品の青ネギは 540,000 円であった。

5. 期首製品のバレイショは 910,000 円であり、当期に引渡し済みである。

6. 指示書別原価計算表（単位：円）

	青ネギ	カボチャ	ハウレンソウ	合計
期首仕掛品原価	()	—	—	()
直接材料費	()	()	()	()
直接労務費	()	(①)	()	()
製造間接費	(②)	()	()	()
合計	()	()	()	()
備考	()	()	()	

〔勘定〕（単位：円）

仕掛品																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">前期繰越</td><td style="width: 50%;">()</td></tr> <tr><td>種 苗 費</td><td>()</td></tr> <tr><td>賃 金 手 当</td><td>()</td></tr> <tr><td>製造間接費</td><td>()</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;"></td><td style="border-top: 1px solid black;">()</td></tr> <tr><td style="border-top: 3px double black;"></td><td style="border-top: 3px double black;"></td></tr> </table>	前期繰越	()	種 苗 費	()	賃 金 手 当	()	製造間接費	()		()			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">製 品</td><td style="width: 50%;">()</td></tr> <tr><td>次 期 繰 越</td><td>(③)</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;"></td><td style="border-top: 1px solid black;">()</td></tr> <tr><td style="border-top: 3px double black;"></td><td style="border-top: 3px double black;"></td></tr> </table>	製 品	()	次 期 繰 越	(③)		()		
前期繰越	()																				
種 苗 費	()																				
賃 金 手 当	()																				
製造間接費	()																				
	()																				
製 品	()																				
次 期 繰 越	(③)																				
	()																				
製 品																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">前期繰越</td><td style="width: 50%;">()</td></tr> <tr><td>仕 掛 品</td><td>()</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;"></td><td style="border-top: 1px solid black;">()</td></tr> <tr><td style="border-top: 3px double black;"></td><td style="border-top: 3px double black;"></td></tr> </table>	前期繰越	()	仕 掛 品	()		()			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">売上原価</td><td style="width: 50%;">(④)</td></tr> <tr><td>次 期 繰 越</td><td>(⑤)</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;"></td><td style="border-top: 1px solid black;">()</td></tr> <tr><td style="border-top: 3px double black;"></td><td style="border-top: 3px double black;"></td></tr> </table>	売上原価	(④)	次 期 繰 越	(⑤)		()						
前期繰越	()																				
仕 掛 品	()																				
	()																				
売上原価	(④)																				
次 期 繰 越	(⑤)																				
	()																				

【選択肢】

	①	②	③	④	⑤
1	126,500	324,000	694,750	2,580,000	835,500
2	126,500	310,500	540,000	1,670,000	910,000
3	109,250	256,500	540,000	3,160,000	910,000
4	138,000	310,500	540,000	2,580,000	835,500
5	126,500	324,000	694,750	1,670,000	835,500

問題 7 以下の【資料】に基づき、製造原価報告書と損益計算書の空欄（①）～（⑤）に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。

【資料】（単位：円）

種苗費		仕掛品	
買掛金	1,150,000	仕掛品	1,150,000
肥料費			
前期繰越	180,000	仕掛品	()
買掛金	920,200	製造間接費	()
		次期繰越	183,000
	<u>1,100,200</u>		<u>1,100,200</u>

仕掛品		製品	
前期繰越	468,400	製品	2,981,600
種苗費	()	次期繰越	696,000
肥料費	()		
貸金手当	()		
製造間接費	1,200,000		
	<u>3,677,600</u>		<u>3,677,600</u>

貸金手当		製品	
預り金	56,000	前期繰越	673,500
普通預金	600,000	仕掛品	2,981,600
未払費用	40,100		<u>3,655,100</u>
	<u>696,100</u>		<u>3,655,100</u>

製造間接費		売上原価	
肥料費	283,000	製品	2,763,000
貸金手当	()	製造間接費差異	54,100
外注加工費	76,000		
減価償却費	452,000		
	<u>()</u>		

製造原価報告書

I	直接材料費		(①)
II	直接労務費		()
III	製造間接費		
	実際発生額	()	
	製造間接費差異	()	(②)
	当期総製造費用	()	
	期首仕掛品棚卸高	()	
	合計	()	
	期末仕掛品棚卸高	()	
	当期製品製造原価	(③)	

損益計算書

I	売上高		4,500,000
II	売上原価		
	1. 期首製品棚卸高	()	
	2. 当期製品製造原価	()	
	合計	()	
	3. 期末製品棚卸高	()	
	差引	()	
	4. 原価差異	()	(④)
	売上総利益	()	
III	販売費及び一般管理費		1,450,000
	営業利益	(⑤)	

【選択肢】

	①	②	③	④	⑤
1	1,784,200	1,200,000	2,981,600	2,708,900	341,100
2	1,784,200	1,254,100	2,981,200	2,817,100	232,900
3	1,784,200	1,200,000	2,981,600	2,817,100	232,900
4	1,150,000	1,200,000	3,436,800	2,817,100	232,900
5	1,784,200	1,254,100	2,981,600	2,708,900	341,100

問題 8～9

畜産農業を営む当社の【資料】に基づき、全部原価計算方式および直接原価計算方式によった場合の損益計算書の空欄（①）～（⑤）に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。なお、期末仕掛品原価の計算方法は先入先出法による。

〔資料〕

1. 生産・販売データ

期首仕掛品	180 頭	期首製品	0 頭
当期投入	<u>360 頭</u>	当期完成品	<u>380 頭</u>
合計	540 頭	合計	380 頭
期末仕掛品	<u>160 頭</u>	期末製品	<u>0 頭</u>
当期完成品	<u>380 頭</u>	当期販売品	<u>380 頭</u>

完成品の家畜の飼育日数は 150 日であった。期首仕掛品となった家畜は 120 日の飼育日数が経過しており、期末仕掛品となった家畜は 100 日の飼育日数が経過している。また、期末仕掛品となった家畜の素畜費は、2,960,000 円であった。

2. 製造原価データ

	<u>期首仕掛品原価</u>	<u>当期製造費用</u>
素畜費	3,042,000 円	6,660,000 円
変動加工費	1,300,000 円	2,672,800 円
固定加工費	1,150,000 円	2,251,320 円

3. 販売費及び一般管理費

販売費	1,250,000 円（すべて固定費である）
一般管理費	1,785,000 円（すべて固定費である）

4. 当該家畜は 1 頭あたり 45,000 円で販売された。

問題 8

全部原価計算方式の損益計算書

（単位：円）

I 売上高		(①)
II 売上原価		
1. 期首製品棚卸高	()	
2. 当期製品製造原価	(②)	
合計	()	
3. 期末製品棚卸高	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
1. 販売費	()	
2. 一般管理費	()	()
営業利益		()

【選択肢】

	①	②
1	17,100,000	12,471,320
2	16,200,000	11,584,120
3	17,100,000	11,584,120
4	16,200,000	12,583,320
5	17,100,000	12,583,320

問題 9

直接原価計算方式の損益計算書

(単位：円)

I 変動益		()
II 変動売上原価		
1. 期首製品棚卸高	()	
2. 当期製品製造原価	()	
合計	()	
3. 期末製品棚卸高	()	()
限界利益		(③)
III 固定費		
1. 加工費	(④)	
2. 販売費	()	
3. 一般管理費	()	()
営業利益		(⑤)

【選択肢】

	③	④	⑤
1	9,332,800	2,251,320	2,044,880
2	7,217,200	3,401,320	2,042,880
3	9,882,800	2,300,520	1,930,880
4	7,217,200	2,251,320	1,930,880
5	8,479,200	3,401,320	2,044,880

問題 10 次の入金伝票、出金伝票、振替伝票より各勘定口座へ転記した場合の①～③にあてはまる金額の組み合わせとして正しいものの番号を一つ選びなさい。

入金伝票	No. 110
X年8月10日	
野菜売上高	20,000

出金伝票	No. 215
X年8月10日	
買掛金	15,000

入金伝票	No. 111
X年8月10日	
売掛金	65,000

出金伝票	No. 216
X年8月10日	
諸材料費	10,000

振替伝票	No. 328
X年8月10日	
売掛金 30,000	野菜売上高 30,000

振替伝票	No. 329
X年8月10日	
諸材料費 5,000	買掛金 5,000

仕 訳 日 計 表

X年8月10日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
(①)	現 金	?
?	売 掛 金	(②)
15,000	買 掛 金	?
—	野 菜 売 上 高	?
?	諸 材 料 費	—
(③)	合 計	(③)

【選択肢】

	①	②	③
1	60,000	30,000	135,000
2	60,000	30,000	140,000
3	65,000	65,000	145,000
4	85,000	65,000	145,000
5	85,000	65,000	155,000

問題 11

次の乳用牛の育成に関する取引に関し、X12年4月期に、乳用牛A～Cのそれぞれについて、生物勘定へ振り替える金額の組み合わせとして正しいものの番号を一つ選びなさい。（決算年1回、決算日4月30日）

[取引]

- X10年5月より乳用牛A及び乳用牛Bの育成を開始した。X11年4月期において乳牛の育成に要した素畜費および飼料費は、乳用牛Aが149,000円、乳用牛Bが103,900円であった。
- X11年4月期において育成中の乳用牛に使用した上記1.以外の育成費は、乳用牛Aが152,800円、乳用牛Bが145,300円であった。
- X11年5月より乳用牛Cの育成を開始した。また従来から育成中の乳用牛A及び乳用牛Bが、初産の分娩をし搾乳を開始した。乳用牛Aの分娩までの当期の飼料費は52,900円、飼料費以外の育成費は26,100円であった。また、乳用牛Bの分娩までの当期の飼料費は91,600円、飼料費以外の育成費は51,400円であった。
- X12年4月期において乳用牛Cに要した育成費について計算をしたところ、素畜費および飼料費は131,000円、その他の育成費は152,600円であった。

【選択肢】

	乳用牛A	乳用牛B	乳用牛C
1	178,900円	196,700円	0円
2	231,800円	288,300円	283,600円
3	380,800円	392,200円	0円
4	231,800円	288,300円	0円
5	380,800円	392,200円	283,600円

問題 12 次の仕訳のうち、誤っているものが一つある。その仕訳の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 農業用倉庫の建設を依頼し、契約代金 3,000,000 円の一部 300,000 円を手付金として、小切手を振り出して支払った。

(借) 建設仮勘定 300,000 (貸) 当座預金 300,000

2. 上記農業用倉庫が完成し、引き渡しを受け、残金 2,700,000 円につき小切手を振り出して支払った。なお、同日より使用を開始した。

(借) 建 物 3,000,000 (貸) 建設仮勘定 300,000
(貸) 当座預金 2,700,000

3. 決算にあたり、農業用倉庫の減価償却を行った。なお、今期の償却額は 88,500 円である。(直接法)

(借) 減価償却費 88,500 (貸) 建 物 88,500

4. 会社設立後、営業開始までに必要な費用として 360,000 円を支払い、繰延資産として計上していたが、決算にあたり、繰延資産について 5 年の月割償却を行った。なお、決算まで 3 ヶ月経過している。

(借) 開 業 費 18,000 (貸) 開業費償却 18,000

5. 農業用機械が故障して修理不能となったため廃棄した。(取得価額 1,400,000 円、期首の帳簿価額 200,000 円、今期償却額 150,000 円、間接法により償却しており、処分可能価額は 0 円である)

(借) 減価償却累計額 1,200,000 (貸) 機 械 装 置 1,400,000
(借) 減 価 償 却 費 150,000
(借) 固 定 資 産 廃 棄 損 50,000

問題 13

次の所有権移転ファイナンス・リース取引に関する【資料】に基づいて、X3年3月31日における決算整理後残高試算表の(①)～(③)にあてはまる金額の組み合わせとして、正しいものの番号を一つ選びなさい。なお、計算上生じる端数は円未満四捨五入する。

(決算年1回、決算日3月31日)

【資料】

- (1) 所有権移転条項：あり
- (2) 解約不能のリース期間：3年
- (3) リース取引開始日：X1年4月1日
- (4) リース料：月額：36,000円(各年3月31日に1年分432,000円を現金で支払う)
総額：1,296,000円
- (5) 貸手の購入価額：1,200,000円(借手においても明らかである)
- (6) 貸手の計算利率：年3.949%(借手においても明らかである)
- (7) リース物件の経済的耐用年数：4年
- (8) 借手の減価償却方法：定額法(償却率：0.250、残存価額0、間接法により処理)

決算整理後残高試算表

X3年3月31日

(単位：円)

借	方	勘定科目	貸	方
	× × ×	・ ・ ・		× × ×
		リース債務	(①)
		減価償却累計額	(②)
(③)	支払利息		
	× × ×	・ ・ ・		× × ×
	× × ×	合 計		× × ×

【選択肢】

	①	②	③
1	415,588	300,000	32,200
2	415,588	300,000	47,388
3	415,588	600,000	32,200
4	815,388	300,000	47,388
5	815,388	600,000	47,388

問題 14

次の取引における仕訳の①～③にあてはまる勘定科目の組み合わせとして正しいものの番号を一つ選びなさい。

1. 農産物の価格補填金とし 280,000 円が普通預金口座に入金された。
 (借) 普通預金 280,000 (貸) (①) 280,000
2. 経営安定対策制度の掛金として、90,000 円を普通預金口座より支払った。
 (借) (②) 90,000 (貸) 普通預金 90,000
3. 配合飼料価格差補填金として、300,000 円を普通預金口座に入金された。
 (借) 普通預金 300,000 (貸) (③) 300,000

(勘定科目)

ア 価格補填収入 イ 飼料費 ウ 共済掛金 エ 受取共済金 オ 経営安定補填収入

【選択肢】

1. ①ア ②イ ③エ
2. ①ア ②ウ ③オ
3. ①ア ②ウ ③イ
4. ①オ ②ウ ③イ
5. ①オ ②イ ③エ

問題 15

株式会社Xは、米の栽培を行う3月決算法人である。下記の【連続仕訳】のうち、誤っている仕訳の番号を一つ選びなさい。なお、株式会社Xは、農業経営基盤強化準備金の経理については、損金経理方式、圧縮記帳については、直接減額方式を採用している。

【連続仕訳】（仕訳の単位：円）

① X1年5月10日：作付面積を基準とした交付金1,325,000円が普通預金に入金された。

（借） 普通預金 1,325,000 （貸） 作付助成収入 1,325,000

② X2年3月31日：X1年5月10日に交付を受けた交付金全額を、農業経営基盤強化準備金として繰り入れた。

（借） 農業経営基盤強化準備金繰入 1,325,000 （貸） 農業経営基盤強化準備金 1,325,000

③ X2年4月1日：積み立ててあった農業経営基盤強化準備金のうち、1,000,000円を取り崩した。

（借） 農業経営基盤強化準備金 1,000,000 （貸） 農業経営基盤強化準備金戻入 1,000,000

④ X2年4月1日：農業用トラクターを3,500,000円で購入し、代金は普通預金から支払った。また、当該機械について圧縮記帳を行った。

（借） 機械装置 3,500,000 （貸） 普通預金 3,500,000

（借） 固定資産圧縮損 1,000,000 （貸） 機械装置 1,000,000

⑤ X3年3月31日：X2年4月1日に購入した農業用トラクターにつき、減価償却費を計上した。

（償却率：0.357、償却方法：定率法、記帳方法：直接法）

（借） 減価償却費 1,249,500 （貸） 機械装置 1,249,500

【選択肢】

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

問題 16

農事組合法人ABCは、X1年6月22日の定時総会において、繰越利益剰余金を財源とした剰余金の配当等を次の通り決定し、利益準備金は定款で定める最低金額を積み立てることとした。

従事分量配当金	2,500,000円
農業経営基盤強化準備金	1,000,000円
利益準備金	?円

下記の〔資料〕に基づき、農事組合法人ABCが利益準備金として積み立てるべき金額として正しい番号を一つ選びなさい。

なお、農事組合法人ABCは、定款において、出資総額の二分の一に相当する金額に達するまで毎事業年度の剰余金の十分の一に相当する金額以上の金額を利益準備金として積み立てるものと定めている。

〔資料〕

貸借対照表（一部）

農事組合法人ABC	X1年3月31日（決算日）現在	（単位：円）	
仮払配当金	1,800,000	出資金	2,000,000
		利益準備金	700,000
		農業経営基盤強化準備金	600,000
		繰越利益剰余金	7,000,000
		（うち当期純利益）	4,500,000

【選択肢】

1. 300,000
2. 400,000
3. 450,000
4. 500,000
5. 700,000

問題 17

収入保険に関する次のA～Eの記述には、誤っているものが二つある。その誤っている記号の組合せを示す番号を一つ選びなさい。

- A 収入保険の保険料等の支払額については、保険料及び積立金の合計額を共済掛金勘定により処理する。
- B 収入保険の保険金及び国庫補助相当分の特約補填金にかかる収入額については、収入保険補填収入勘定で処理する。
- C 保険金等の請求手続をした時点で、(借方) 未収入金 (貸方) 未決算 の仕訳を計上するのが原則であるが、当該仕訳の計上を省略し、入金時に未決算勘定を相手勘定として会計処理する方法もある。
- D X1年の収入が基準収入に対して一定水準以上の減収となり、X2年において保険金等を請求することとなる場合は、X1年の決算において保険金等の受領見込み額を見積もり、当該金額をX1年の収入として計上する。
- E 収入保険にかかる補填を受けた場合には、経営保険積立金の払戻金は共済掛金勘定を用いて処理する。

【選択肢】

1. A D 2. A E 3. B C 4. B E 5. C D

問題 18～25

畜産業を営む乙牧場株式会社のR2年7月1日からR3年6月30日までの会計期間について、次の〔資料1〕〔資料2〕に基づいて、以下の設問に答えなさい。なお、当社は原価計算制度を採用していない。

〔資料1〕 決算整理前残高試算表

乙牧場株式会社	R3年6月30日	(単位:円)
270,000	現金	
33,257,878	普通預金	
18,631,250	売掛金	
2,341,525	原材料	
38,641,823	仕掛品	
12,331,925	機械装置	
1,235,618	器具備品	
4,295,680	生物	
2,000,000	出資金	
	買掛金	18,618,600
	預り金	258,630
	仮受金	2,800,000
	長期借入金	31,450,680
	資本金	8,000,000
	繰越利益剰余金	37,669,498
	製品売上高	159,310,510
280,100	種苗費	
13,100,820	素畜費	
1,250,605	肥料費	
78,629,539	飼料費	
2,061,300	農薬費	
1,861,345	諸材料費	
6,061,500	賃金手当	
3,898,303	修繕費	
4,561,828	動力光熱費	
9,450,244	共済掛金	
6,800,000	賃借料	
7,800,000	役員報酬	
10,409,348	販売手数料	
	受取利息	3,921
	雑収入	1,400,000
341,208	支払利息	
259,511,839		259,511,839

[資料2] 決算整理事項

(1) 棚卸資産の期末棚卸の状況は、以下のとおりである。なお、棚卸資産の決算整理は、総額法による。

棚卸資産	総額
農薬	289,289 円
飼料	3,250,112 円
販売用家畜	37,450,586 円

(2) 機械装置 A (取得価額 7,000,000 円、R2 年 12 月取得・計上済、耐用年数 7 年、定率法償却率 0.286) の取得を目的とした補助金を仮受金に計上しているため、これを正しい勘定科目へ修正する。また、機械装置 A について、直接減額方式により、補助金相当額の圧縮損を計上する。なお、減価償却費の記帳方法は、直接法とし、減価償却費の 1 円未満の端数は切捨てる。(以下同様)

(3) 繁殖牛の売却に係る収入 1,400,000 円を雑収入に計上しているため、正しい勘定科目へ修正する。なお、売却した繁殖牛に係る情報は以下のとおりであるが、これに関する会計処理は行っていない。

期首時点における帳簿価額の合計	1,080,000 円
売却時までの減価償却費相当額の合計	298,400 円

(4) R3 年 3 月 31 日に繁殖牛 (取得原価 658,000 円、期首帳簿価額 310,200 円、定額法償却率 0.167) が病気により死亡したが、これに関する会計処理は行っていない。当該繁殖牛には共済契約を付していたため、ただちに共済金を請求したところ、R3 年 6 月 25 日に、死亡した繁殖牛の R3 年 3 月 31 日時点の帳簿価額と同額の共済金を支払う旨の通知を受け取ったので、適切な科目に修正する。

(5) 当期に計上すべき減価償却費は、以下のとおりである。

【減価償却に関する資料】

固定資産	当期償却額	備考
上記(2) 機械装置 A	(ア)	製造に関する費用
上記以外の機械装置	1,524,928 円	製造に関する費用
器具備品	287,619 円	製造に関する費用
上記(3) 売却した繁殖牛	298,400 円	製造に関する費用
上記(4) 死亡した繁殖牛	(イ)	製造に関する費用
上記以外の繁殖牛	808,800 円	製造に関する費用
合 計	(推 定)	—

(6) 決算において、消費税の納付税額は、2,976,500 円と確定した。なお、消費税については、税込方式を採用している。

(7) 決算において、法人税等の年税額が 1,626,400 円と確定した。

問題 18

上掲の【減価償却に関する資料】の空欄（ア）と（イ）を計算し、正しい金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|-----|-----------|-----|---------|
| 1. | (ア) | 700,700 | (イ) | 58,082 |
| 2. | (ア) | 700,700 | (イ) | 82,414 |
| 3. | (ア) | 1,167,823 | (イ) | 82,414 |
| 4. | (ア) | 1,167,823 | (イ) | 109,886 |
| 5. | (ア) | 2,002,000 | (イ) | 109,886 |

製造原価報告書

乙牧場株式会社

自 R2 年 7 月 1 日 至 R3 年 6 月 30 日

(単位：円)

I 材料費

()	()	
種	苗	費	280,100	
素	畜	費	13,100,820	
肥	料	費	1,250,605	
飼	料	費	78,629,539	
農	薬	費	2,061,300	
諸	材	料	費	1,861,345
計		()	

()	()	()
---	---	---	---	---	---

II 労務費

賃	金	手	当	()
---	---	---	---	---	---

III 経費

修	繕	費	3,898,303			
動	力	光	熱	費	4,561,828	
共	済	掛	金	9,450,244		
減	価	償	却	費	()
賃	借	料	6,800,000	()	

当	期	総	製	造	費	用	()
---	---	---	---	---	---	---	---	---

()	(ウ)
---	---	---	---	---

計	()
---	---	---

()	(エ)
---	---	---	---	---

当	期	製	品	製	造	原	価	()
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問題 19

上掲の製造原価報告書の空欄（ウ）と（エ）を計算し、正しい金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|-----|------------|-----|------------|
| 1. | (ウ) | 2,341,925 | (エ) | 3,539,401 |
| 2. | (ウ) | 3,539,401 | (エ) | 37,450,586 |
| 3. | (ウ) | 38,641,823 | (エ) | 37,450,586 |
| 4. | (ウ) | 40,983,348 | (エ) | 37,450,586 |
| 5. | (ウ) | 40,989,987 | (エ) | 38,641,823 |

損 益 計 算 書

乙牧場株式会社	自 R2 年 7 月 1 日 至 R3 年 6 月 30 日	(単位：円)
I 売上高		
1. 製品売上高	159,310,510	
2. (　　　　　)	(　　カ　　)	(　　)
II 売上原価		
1. 当期製品製造原価	(　　)	
2. (　　　キ　　)	(　　ク　　)	(　　)
売上総利益		(　　)
III 販売費及び一般管理費		
1. 役員報酬	7,800,000	
2. 販売手数料	10,409,348	
3. (　　　ケ　　)	(　　コ　　)	(　　)
営業利益		(　　)
IV 営業外利益		
1. 受取利息		3,921
V 営業外費用		
1. 支払利息		341,208
経常利益		(　　)
VI 特別利益		
1. (　　　サ　　)		(　　シ　　)
VII 特別損失		
1. (　　　ス　　)		(　　セ　　)
税引前当期純利益		(　　)
(　　)		(　　)
当期純利益		(　　)

問題 20

上掲の損益計算書の空欄（カ）と（ク）を計算し、（オ）～（ク）の正しい表示科目または金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 1. | （オ）生物売却益 | （カ）1,400,000 | （キ）生物売却原価 | （ク）1,080,000 |
| 2. | （オ）生物売却益 | （カ）1,101,600 | （キ）生物売却損 | （ク）1,080,000 |
| 3. | （オ）雑収入 | （カ）1,400,000 | （キ）生物売却原価 | （ク）1,080,000 |
| 4. | （オ）生物売却収入 | （カ）1,400,000 | （キ）生物売却原価 | （ク）781,600 |
| 5. | （オ）生物売却収入 | （カ）1,400,000 | （キ）生物製造原価 | （ク）781,600 |

問題 21

上掲の損益計算書の空欄（ケ）と（コ）の正しい表示科目または金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | |
|----|-----------|--------------|
| 1. | （ケ）租税公課 | （コ）1,626,400 |
| 2. | （ケ）租税公課 | （コ）2,976,500 |
| 3. | （ケ）法人税等 | （コ）4,602,900 |
| 4. | （ケ）仮払消費税等 | （コ）2,976,500 |
| 5. | （ケ）法人税等 | （コ）1,626,400 |

問題 22

上掲の損益計算書の空欄（シ）と（セ）を計算し、（サ）～（セ）の正しい表示科目または金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|------------|--------------|-------------------|--------------|
| 1. | （サ）雑収入 | （シ）2,800,000 | （ス）固定資産圧縮損 | （セ）2,800,000 |
| 2. | （サ）国庫補助金収入 | （シ）2,800,000 | （ス）固定資産圧縮損 | （セ）2,800,000 |
| 3. | （サ）固定資産売却益 | （シ）2,800,000 | （ス）農業経営基盤強化準備金繰入額 | （セ）2,800,000 |
| 4. | （サ）国庫補助金収入 | （シ）2,800,000 | （ス）固定資産圧縮損 | （セ）7,000,000 |
| 5. | （サ）国庫補助金収入 | （シ）7,000,000 | （ス）農業経営基盤強化準備金繰入額 | （セ）7,000,000 |

貸借対照表

乙牧場株式会社

R3年6月30日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産		I 流動負債	
1. 現金預金	33,527,878	1. 買掛金	18,618,600
2. 売掛金	18,631,250	2. 預り金	258,630
3. ()	()	3. 未払法人税等	()
4. ()	()	4. ()	()
5. (ソ)	(タ)	流動負債合計	(ツ)
流動資産合計	()		
II 固定資産		II 固定負債	
1. 機械装置	()	1. 長期借入金	31,450,680
2. 器具備品	()	固定負債合計	31,450,680
3. 生物	()	負債合計	()
4. 出資金	()	純資産の部	
固定資産合計	(チ)	I 株主資本	
		1. 資本金	8,000,000
		2. 利益剰余金	
		その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	()
		利益剰余金合計	()
		純資産合計	()
資産合計	()	負債・純資産合計	()

問題 23

上掲の貸借対照表の空欄 (ソ) と (タ) の正しい表示科目または金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | |
|----|----------|-------------|
| 1. | (ソ) 未収入金 | (タ) 227,786 |
| 2. | (ソ) 未決算 | (タ) 227,786 |
| 3. | (ソ) 未収入金 | (タ) 236,943 |
| 4. | (ソ) 未決算 | (タ) 236,943 |
| 5. | (ソ) 未決算 | (タ) 265,386 |

問題 24

上掲の貸借対照表の空欄（チ）を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

1. 11,650,276 2. 12,034,186 3. 12,052,576 4. 12,323,504 5. 12,350,976

問題 25

上掲の貸借対照表の空欄（ツ）を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

1. 18,877,230 2. 21,853,730 3. 23,480,130 4. 23,491,540 5. 23,749,940